

横田基地、2019年米国「ポリス・ウィーク」(1) *Yokota's 2019 National Police Week in review*

May 31, 2019

By Machiko Arita
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真1)5月20日、米国の「ポリス・ウィーク」の一環で行われた5キロのラックマーチで、荷を背負って走る第374憲兵中隊パトロール官ノエル・リロナー等空兵。

参加者たちは、およそ35ポンド(約16キロ)の重さのバックパックを背負いながら走った。



1

(写真2)5キロのラックマーチの参加者に殉職した憲兵中隊の空兵の写真について説明する第374憲兵中隊パトロール官ノア・ヘルナンデス二等空兵。

米国の「ポリス・ウィーク」にちなみ、第374憲兵中隊は、5キロのラックマーチを皮切りに、殉職した憲兵中隊と法執行機関の職員を追悼する様々なイベントを1週間に渡って行った。



2

(写真3)5月21日、ディフェンダーズ・チャレンジ競技でベア・クロールを行う第374憲兵中隊対応部隊隊員マンテビウス・ラッカー一等空兵。



3

横田基地、2019年米国「ポリス・ウィーク」(2)

Yokota's 2019 National Police Week in review

May 31, 2019

By Machiko Arita
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真1)5月21日、ディフェンダーズ・チャレンジ競技で「ファイヤーマンズキャリー」(人を担いで運ぶ技術)を競う、第374憲兵中隊対応部隊隊員ワニシャ・スペンス二等空兵。

このイベントには、在日陸・海・空・海兵隊が参加した。



(写真2)5月24日、「アイロン・ドッグ」競技で軍用犬の「タイボー」と共に走る横須賀海軍施設保安部軍用犬ハンドラーのホワード・ノリス先任警衛兵二等兵曹。

この日、15組のチームが「アイロン・ドッグ」、「ハード・ドッグ・ファースト・ドッグ」、「トップ・ドッグ」の3競技で競い合った。



(写真3)5月24日、「アイロン・ドッグ」競技で、軍用犬「バンコ」を担いで階段を駆け上がる第374憲兵中隊軍用犬ハンドラーのデイビッド・フェロー軍曹。

「アイロン・ドッグ」競技は、2マイルのコースを走りながら、臭気選別、障害物ジャンプ、獣医技能テスト、35ポンド(約16キロ)の荷物を背負ったまま訓練用のダミー人形を引く、犬を担いで6階分の階段を上がるなどの障害物を行い採点を競う競技である。



横田基地、2019年米国「ポリス・ウィーク」(3) *Yokota's 2019 National Police Week in review*

May 31, 2019

By Machiko Arita
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真1)5月24日、「アイロン・ドッグ」競技で模擬の軍用犬に応急措置を施す、横須賀海軍施設保安部軍用犬ハンドラーのホワード・ノリス
先任警衛兵二等兵曹。



1

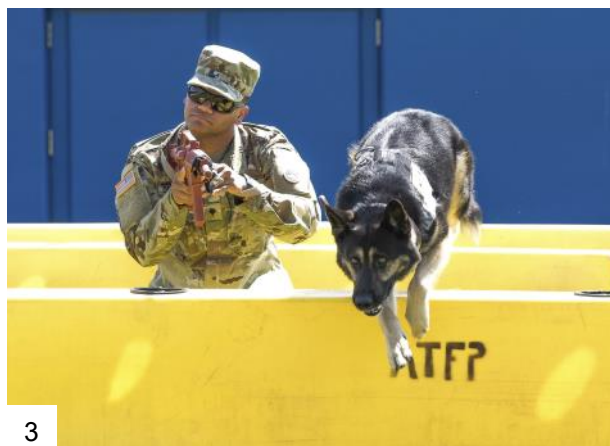
(写真2)5月24日、「ハード・ドッグ・ファースト・ドッグ」競技で模擬犯人を制圧する第51憲兵中隊の軍用犬「ジナ」。



2

(写真3)5月24日、「トップ・ドッグ」競技で障害物を越える第901憲兵分遣隊の軍用犬「ブゾ」。

この競技には、陸・海・空の米軍と航空自衛隊の隊員が参加した。



3